

新中学校開校準備委員会だより No.12

令和5年8月

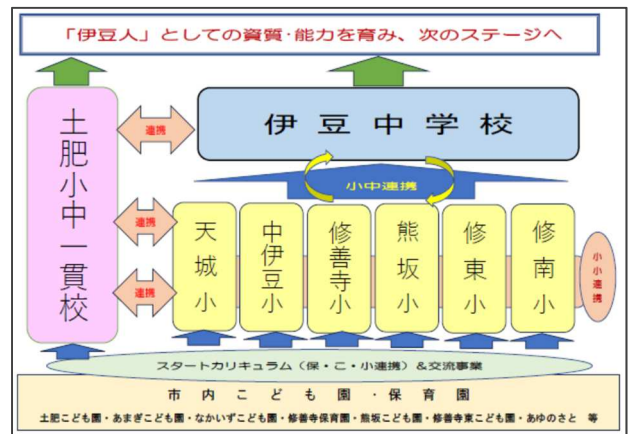
修善寺・中伊豆・天城地区新中学校開校準備委員会事務局（伊豆市教育委員会学校教育課内）

どんな中学校をつくっていくか～新中学校開校の意義を問い直す～

第13回新中学校開校準備委員会を7月27日（木）に中伊豆支所で開催しました。7月1日付で就任した鈴木洋一新教育長が、あらためて伊豆市の教育における新中学校の開校の意義について説明を行いました。

右図に示す通り、令和7年4月に伊豆中学校が開校すると、6つの小学校から伊豆中学校に子供たちが集まってくることになります。子供たちが安心して中学校生活を送るためには、中学校入学前から各小学校同士の横の連携や小学校と中学校の縦の連携が大切になってきます。

具体的な取り組みとしては、小学校同士の児童の交流や行事の工夫、学習方法や学習内容の統一を図っていくこと、小学校と中学校の縦の接続を意識したカリキュラムマネジメント（学校経営や子供の学びの視点で教育課程を調整していくこと）等を行っていく必要があります。このように、伊豆中学校の開校は、各小学校や土肥小中一貫校もふくめた伊豆市の学校教育全体の一層の充実につながるよう進めていかなければなりません。



令和7年4月「伊豆中学校」が開校したときの伊豆市の学校教育全体のイメージ

各中学校区で意見交換

今回は答申に関わる審議がなかったことから、各中学校区に分かれ、現在心配なことや問題となりそうなことについて意見交換を行いました。新中学校開校は、子供たちにとっては新しい出会いの機会となるものの、不安を感じることもあるのではないかと。また、通学上の安全確保や防犯上の心配事等、さまざまな問題が予想されます。こうした内容を地域別（中学校区）で検討していくことで、課題を整理していきます。

子供の立場、保護者の立場、地域住民の立場で、それぞれ意見を述べていただきました。



第13回開校準備委員会【分散会】では、各中学校区に分かれて心配なことや問題となりそうなことについて話し合いました。

子供の姿で目指す学校像を共有～伊豆市教育センター夏季研修会～

開校準備委員会の前日（7月26日）には、市内小中学校の先生方が修善寺中に集まり、伊豆中学校について、「どんな中学校をつくっていくか」というテーマで、自由に意見交換をしてもらいました。先生方は、伊豆市の教育方針を基に、日ごろから接している子供たちの姿を思い浮かべながら、目指していきたい学校像を思い思いに描いていました。先生方にとっては、夢や希望を語り、伝え合うことで、有意義な時間を過ごしていただけたと感じています。また、ここで話し合われた内容は、今後、伊豆中学校の教育目標やランドデザインの作成に生かしていくこととなります。

校章デザインの応募にご協力いただきありがとうございました

～247作品の応募がありました～

6月9日から7月18日にかけて募集をしておりました伊豆中学校の校章デザインの審査が、7月25日に開催した校章作成委員会にて行われました。右表のとおり、247作品の応募があり、ご協力いただいた皆様方には感謝申し上げます。

「伊豆中学校」校章デザイン応募状況

種別	応募数
市内小学生	105
市内中学生	103
伊豆総合高校	33
市内一般	6
合計	247

校章作成委員会では、その中から候補となりそうなもの18作品を選出しました。選出に当たっては、次の3つの視点を重視しました。

- ① 伊豆中学校のイメージや期待することが伝わる作品
- ② 修善寺中、中伊豆中、天城中の校章の一部を組み合わせた作品
- ③ 伊豆市の象徴となるものを要素として取り入れた作品

それぞれの視点で、デザインの中にその要素が含まれているかどうか、また、そのことが一見して伝わるかどうかということを基準にしました。

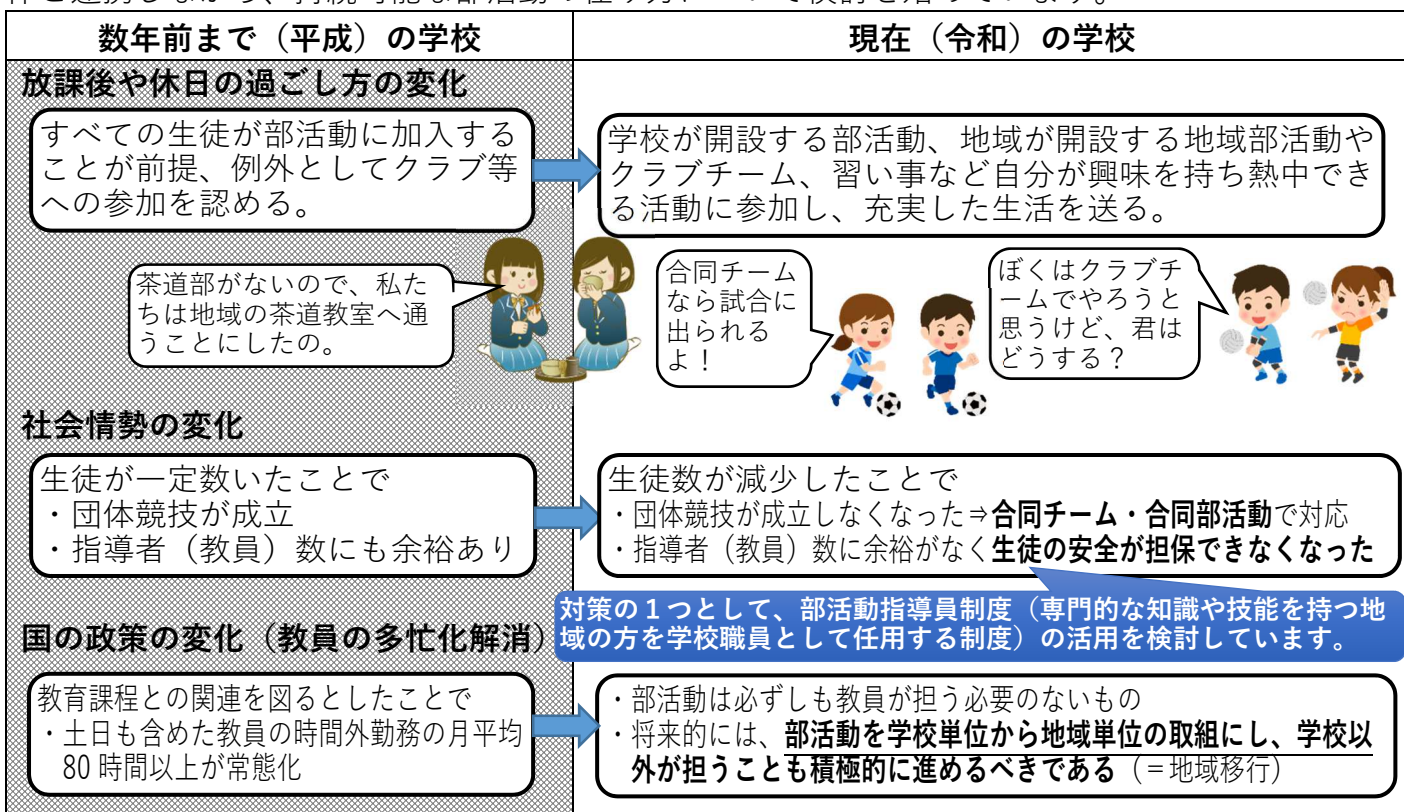
今後の作業としては、さらに作品を絞っていくのと同時に、校章やエンブレムとして実際に使用できる形に作品の手直しをしたり、デザインを再構成したりしていくことになります。

したがって現時点では、選出したデザインがそのまま使用されるかどうかは未定のため、審査結果を非公開とさせていただくことにご理解いただきたいと思います。

【コラム】部活動の地域移行って何？

部活動は、生徒の自主的・自発的な参加による活動ですが、少子化が進む中、これまでのように学校や教職員等の努力だけでは、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保することが困難になりつつあります。そこで、国は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（令和4年12月スポーツ庁・文化庁）」を発行し、学校部活動を地域の活動に移行していく考えを示しました。

このような状況の下、伊豆市教育委員会では、中学校及びスポーツや文化事業を行っている各団体と連携しながら、持続可能な部活動の在り方について検討を始めています。



※将来的には、平日の部活動においても教員の勤務時間内で終了できるよう検討を始めています。